

特集

あのクラブは、なぜ会員が増えたのか？

— 8月「会員増強・新クラブ結成推進月間」に因んで —

新会員を迎え入れることは大切です。しかし、ただ会員数が純増すれば良いとは思えません。既存メンバーの大半が積極的に参加し、楽しみ、満足した上で、クラブに新しい仲間をお迎えするということが、ロータリーの理想とする会員増強ではないでしょうか？

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」なので、2016-17年度に会員維持と会員増強の両面で成果を収め

た4クラブに、無理をお願いして寄稿いただきました。会員増強に対する姿勢や取り組み、入会候補者へのアプローチ方法等を具体的にお書きいただきましたので、皆様にご清覧いただきたくお願い申し上げます。

ご協力くださいました前年度クラブ役員各位に感謝申し上げます。

(ガバナー 吉田 雅俊)

「会員増強・新クラブ結成推進月間」に因んで

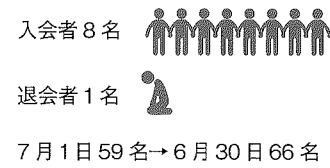
草の根的な努力と「オープン例会」

2016-17年度会長 兎玉 謙 [東京新都心RC]

我がクラブの2016-17年度の新入会員は8名です。それは、ひとえに、本多良美会員増強委員長と委員の方々、そして積極的な協力をして頂いた多くの会員の方々の草の根的な努力の賜物と言えるでしょう。

会員増強のために特筆すべき我がクラブのツールとしては、「オープン例会」があります。これは、何年も前から実施されている例会で、文字通りどのクラブにも属さずロータリアンでもない方々を、ビジターとして受け入れる例会です。もちろん、誰でも参加してよいわけではなく、各会員が入会してもらいたい友人や知人に声をかけて参加してもらうものです。そして例会の卓話者には、ここぞとばかり各界の著名人など魅力あふれる方々を手

分けしてお招きし、ビジターに深い感銘を与え、こんなクラブなら入会してもよいとの想いをいやが上にも喚起する努力をします。当クラブでは、半場慎一プログラム委員長と委員の方々に協力して頂きました。具体的には、4回開催し、2016年8月24日ビジター18名（うち2名入会）、同11月16日ビジター4名（うち1名入会）、2017年2月15日ビジター6名（うち2名入会）、同年4月5日ビジター9名（うち1名入会）各参加の例会を通じて計6名入会、それ以外の会員努力で2名入会という結果となりました。目標70人の達成には数名至りませんでしたが他クラブに誇れる会員増強を実現して頂きました。感謝します。



「会員増強・新クラブ結成推進月間」に因んで

「増強と退会」

— 新入会員を違和感なく仲間として直ぐに受け入れられるクラブ —

2016-17年度会長 大野 利美知 [東京上野RC]

12-13年度5名の入会、13-14年度2名、14-15年度2名、15-16年度1名、16-17年度5名、今年度は初例会で1名の入会がありました。5年前に入会した会員から既に3名の幹事が出ています。クラブに早く馴染み、既存会員との間で良好なコミュニケーションが取れ、クラブライフの楽しさがクラブ奉仕活動に繋がり、他の奉仕活動も活発となり、経験は浅くとも幹事指名に繋がるのではないかと思います。当クラブには新入会員を違和感なく仲間として直ぐに

受け入れられる土壌が醸成されています。クラブライフの楽しさが増強の糧になることは言うまでもありません。退会防止にもなります。前年度は4名の退会がありました。2名は再び環境が整えば再入会希望です。1名は遠方へ引越し、近くのクラブに移籍します。決してロータリークラブが嫌になった訳ではありません。増強はクラブ環境が一番大事なのではないでしょうか。



「会員増強・新クラブ結成推進月間」に因んで

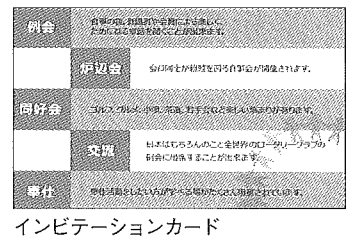
候補者を炉辺会や例会にご招待

— 「会員でよかった」と思えるクラブ運営を —

2016-17年度会員増強委員長 谷井 玲 [東京紀尾井町RC]

会員増強、会員維持のため、当クラブは、1年単位での実施ではなく、長期の計画のもとに進めていく事に致しました。その一つとして、インビテーションカードを作成し、友人知人等に配布し、1会員、1人を紹介するという事を全会員に奨励致しました。又、入会候補者の方には炉辺会や例会にご出席頂き、クラブの雰囲気や体験して頂きました。これらの事をSAA、親睦委員会など、各委員長との連携はじめ、会員全員で、会長のもと一致団結して一歩一歩、着実に実施したことが、今回の結果になった事と思います。

そして、私たち東京紀尾井町RC全会員が、会長方針に沿って、「品格のある素敵なクラブ」を目指し、「会員でよかった」と思えるクラブ運営を心がけたこと。入会候補者の方が、例会や炉辺会の様子をみて入会を決めて下さると言う事を考えると、例会、炉辺会などのクラブ運営がとっ



ても大切であると言う事が言えます。又、それは退会する方をゼロにすることにも繋がります。

そして、増強委員会として、会長から大きな役割を仰せつかったことを自覚し、真摯に動けるように委員会を開催し、委員同士のコミュニケーションを取り情報を共有したことも大きかった事かと思えます。これらの成果が、会員増強12名と言う事に繋がった事だと思えます。

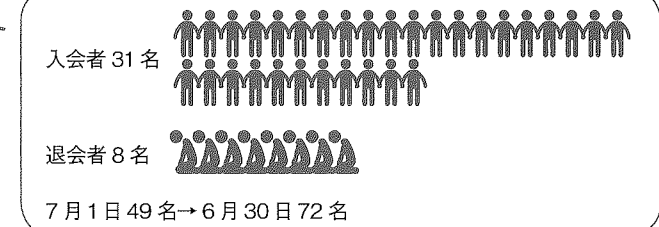
「会員増強・新クラブ結成推進月間」に因んで

31名の会員入会達成

— 会長の情熱にクラブが一致団結 —

2016-17年度クラブ会員増強委員長 / 2017-18年度会長 名嘉 義明 [那覇RC]

2016-17年度は、「会員増強30名！」の目標を掲げ49名でのスタートでした。会員増強を行うにあたり、当クラブではクラブ独自で作成した入会申込書を各会員が常に2~3枚鞆に入れて持ち歩き、各種経済団体の会合の席などで、お声掛け運動を展開しました。青年会議所や商工会議所は年齢制限がある為、卒業した方には「ロータリークラブへの入会を！」を合言葉に、クラブ会員全員で新会員獲得へ奮闘してまいりました。毎週の例会の中で、安里政晃直前会長が熱い思いと情熱を持って会員増強について話され、



その事でみんなの気持ちが一つになり、31名もの会員増強に繋がったと思えます。

今年度も「ロータリーはまず出席から！」を合言葉に、クラブの団結をはかり、新会員の勉強会や研修会も実施しながら、ロータリークラブについての見識を深められればよいのではと考えます。当クラブは今年度も20名の会員増強を目標に次年度のクラブ創立60周年、さらには2019-20年新本博司ガバナー年度に向けて心をひとつに頑張っ



那覇 RC 独自で作成した入会申込書

